**パークボランティア**

ボランティアは、レンジャーや他のスタッフと一緒に、伊勢志摩国立公園を調査・管理しており、公式ロゴと特徴的な帽子を身につけているのが目印です。

ボランティアは落ちている木を取り除いたり、遊歩道の整備をしたりと、公園のメンテナンスを手助けします。また、横山地域の生態調査を実施し、ホトケドジョウやアカガエルといった生き物たちの生息数をモニタリングしています。例えば、ボランティアは毎年創造の森の沼や湿地でカエルの卵の数を数えています。この調査の結果は、繁殖期のメスの個体数を割り出すために使われます。

また、パークボランティアは横山の外来種駆除にも貢献しています。長期的かつ定期的な活動として、ボランティアはレンジャーやビジターセンタースタッフの指導のもと、植物を根元から取り除き、在来種のために生育場所を取り返しています。

広報活動もボランティアの重要な仕事です。グループを案内して横山と周辺地域のツアーを行ったり、子ども向けに工作などのイベントを開催したりしています。

全部で40名ほどのパークボランティアがおり、横山地域や他の地域で毎年100日以上のボランティア活動が予定されています。 ボランティアの募集、オリエンテーション、登録は環境省が担当しています。レンジャーと横山ビジターセンターのスタッフは、横山ビジターセンターを拠点として利用し、ボランティアの活動をサポートしています。